

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2007年新春号

ほくし

大阪北区歯科医師会は、
去る平成一九年一月九日
(火)、ホテル阪急インター
ナショナルに於いて関係官
公署および団体、議員の来
賓を招き、平成一九年新年
互礼会を開催した。大塚専



務理事が司会を務め、中谷
副会長の開会の辞で始まっ
た。黒川会長は新年の賀詞
と参会への謝辞を述べた上
で、IT化の波に乗り遅れ
ないよう昨年からホームペ
ージを開設し、ホームペー

平成19年 新年互礼会開催

ホテル阪急
インターナショナル
『花風の間』

H19.1.9



ジ管理委員会を立ち上げて、
会員専用のホームページも
完成させ、パソコン教室を
開くなど大阪北区歯科医師
会のさらなるIT化に努め
ていることをはじめ、各部
の意欲的な活動により成果
をあげているので今後も更
なるご協力をお願いしたい
、そして、こういう厳しい時
代こそ会員相互が一致団結
して協力し合うべきことを
強調した(詳細は『年頭所感』
参照)。続いて来賓を代表
して岡邦恭大阪府歯科医師
会会長に御挨拶を戴いた。
賀本庶務理事より来賓紹
介の後、村田匠北区長、長
谷豊北保健福祉センター医
務保健長、末澤慶昭大阪市

北区医師会会長、美延映夫
大阪市会議員に御祝辞を戴
き、荒起秀多北区薬剤師会
会長の音頭で乾杯して祝宴
に移った。宴会の途中中山
泰秀衆議院議員のお祝辞を
頂戴した。今年の互礼会は
新会場であったが、前年度
同様、正月らしい飾りつけ
とおせち料理風のご馳走と
食器をそろえた雰囲気が出
評を博した。最後に東郷副
会長の閉会のことばでお開
きとなった。尚、来賓各位
は次の通りであった。
(順不同 敬称略)
岡邦恭(府歯会長) 久山晃
司(府歯青申会専務理事)
天羽隆(府歯理事) 水沼和
夫(府歯連盟常務理事) 橋
本 收(府歯国保専務理事)
中山泰秀(衆議院議員) 京
極俊明(大阪府会議員) 田
中ゆたか(大阪府会議員)
小玉隆子(大阪府会議員)
美延映夫(大阪府会議員)
村田匠(大阪市北区長) 長
谷豊(北区保健福祉センタ
ー医務保健長) 藤嶋誠(北
区消防署長) 末澤慶昭(大阪
市北区医師会会長) 荒起秀
多(北区北薬剤師会会長)
速見憲(大阪府歯科技工士
会会長) 小田純司(大阪府
歯科技工士会北支部長) 小
高則子(大阪府歯科衛生士
会会長) 大野公子(大阪府
歯科衛生士会北支部長)

パノラマ

今年は異常なく
らいの暖冬であった。
例年に比べ半月以
上早く春を感じさ
せる。

東京都心では気
象庁で八十七年明
治九年に観測が始まって以
降131年間の観測史上初めて
の降雪ゼロとなる。これは「エ
ルニーニョ現象」の影響などで
日本付近への寒気の南下が
妨げられ、全国的に気温が
高く降雪量も記録的に少な
くなったものである。

暖冬もここまでくると、地
球温暖化について真剣に取り
組まないといけないことを実
感させられる。このままでは
くと二〇〇年には平均気温
2℃、海面50cmの上昇が予測
されており、日本の砂浜の約
七割がなくなると試算され
ている。

個人的にできることは限
られるが、節電を心がける、
診療室内の設定温度を1℃
高く設定する、ペーパーレスに
努めるといったところから取
り組んでいかないとけない
であろう。

それに比べて政府の各種
文書提供の方針は大量の紙
を必要とし、しかもかなりの
割合ですぐ破棄されること
を思うとエコロジイという観
点でいかなものか?と思う
のは私だけだろうか?(K)

年頭所感

大阪北区歯科医師会

会長 黒川 森夫



明けましておめでとうございます。

会員の皆様方にはご家族お揃いでお健やかによいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様方の温かいご協力と、深いご理解に支えられて伝統ある北区歯科医師会の会務に携わってまいりましたが、あと三ヶ月の任務を残すのみとなりました。

年度初めに私のスローガンとして次の五項目を掲げさせていただきました。

一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務運営
一、明るく、活気ある歯科医師会の推進
一、会内融和
一、伝統の継承

一、対外との緊密な連携
以上の事柄を念頭に置き執行部一致団結して会務運営に取り組んでまいりました

が、お蔭さまでこれまで大禍なく諸事業を進めさせていただいておりますことを役員一同心から感謝致しております。

執行部は、引き続き最近急増する未入会医療機関への積極的な対応、当会内での病診連携への組織作りに加えて、IT実行委員会の意向により昨年一月北区歯科医師会のホームページが立ち上がり、更に四月にはホームページ管理委員会が発足するに至っております。六月には、ホームページ内に会員専用ページの運用を開始、会員の方々により多くのホームページへの参加をしていただくために三回にわたって初級パソコン教室を開き、会内での更なるIT化推進に向けての活動を継続しております。

さて、昨年四月の診療報酬の改定は、史上最悪となり、膨大な文書発行、診療内容のわかる領収書の発行、過剰とも思える摘要欄記載などにより診療時間を著しく圧迫し、日歯の調査によりますと五パーセントを越える引き下げに繋がっていることが判明致しました。

また、平成二十三年からはレセプトオンライン化が義務づけられる方向であり、その根底には個人情報漏洩や歯科医師の自由裁量権への侵害にも及ぶ重大な要素が含まれております。すなわち、政府は引き続き医療担当者の報酬を大幅に引き下げ、患者負担増を強化し、いわば国民の健康を脅かし、ひいては、国民皆保険制度崩壊に繋がる理不尽な方策を実施しようとしているのであります。

このような方策を断固阻止するために当会は、二月二十二日北区六師会主催の国民皆保険制度を守る北区民集会に参画して歯科医師の立場で意見を述べる機会を得ましたので、その節は一人でも多くの方々のご出席をお願い申し上げます。

このような厳冬の時代こそ当会伝統の「和を以って尊しと為す」の精神を旗印に、会員が一致団結し、協力し合い、助け合い、引き続き府歯科医師会のご指導を仰ぎながら、正しい時代認識のもとに行動すべきであると考えております。

私共執行部は任期いっぱい更なる意欲と情熱でもって会務運営に当たると共に、北区内での行政、医師会、

薬剤師会、そしてデンタルスタッフである歯科技工士会、歯科衛生士会、更には関係団体ともこれまで以上に連携を密にして地域歯科医療発展のために全力を傾注する覚悟であります。

年頭所感



明けましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の皆様方とご家族にとつて新しい年が豊かで、心安らぐ年となりますよう、お祈り申し上げます。昨年は北朝鮮の核実験が世界を震撼させ、また中東でも戦火が止むことなく尊い命が犠牲となりました。

世界の人々の願いが叶い、一日も早く平和と安定がもたらされることを願って止みません。

皆様方の全面的なご協力で開始いたしました夜間緊急歯科診療も約2年半が過ぎ、順調に推移いたしております。「障害児診療」「休

どうか本年も倍旧のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様方にとって今年こそよい年になりますことを心から祈念致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

大阪府歯科医師会

会長 岡 邦恭

日緊急歯科診療」と共に地域の方々の安心と安全に加え、僅かでも地域の活力の増進に貢献しているものと考え、これからの地域社会の発展、歯科保健の向上に努め、その結果、自ずと歯科医療の価値観が高まることを期待したいと考えております。

また、ここ数年、政府は医療保険制度改革と称して国民各層に大きな負担を強いておりますが、これは抜本改革というには程遠い財政一辺倒の施策でしかありません。極めて厳しい情勢が続きますが残された任期一杯、会員の皆様方の負託に応えるよう会務の執行に全力を挙げる所存です。

さて、昨年は史上最悪の診療報酬改定が行われ、歯科においては改定時に義務付けられた、おびただしい

文書の発行や過剰な摘要欄記載は診療時間を大きく圧迫し歯科医療機関に測り知れない打撃を与えました。一連の義務化は一日も早く、元の状態に戻すことが日歯、日歯連盟に求められている喫緊の課題と言えましょう。改定と前後して改正省令によって平成二三年に義務付けられようとしているレセプトオンライン化も大きな問題をはらんでおり、患者個人情報漏洩、歯科医師の自由裁量権への侵犯、対応できない医療機関への救済措置、オンライン化のコスト負担など重大な問題は未だ担保されておりません。しかし、この改正省令は絶対的な不動の法律では有りません。改正省令であるならば、その改正もまた可能であると考えます。困難ではあっても我々の運動如何によつて変わる可能性がある以上、決してあきらめることなく不断の努力を重ねたいと思うのであります。

時局は大変厳しく私達の環境、周辺を見渡ししても、明るいものは全く見出せません。国の財政の展望が見出せない状況で最も大切である国民の命と健康を(3面下段につづく)

新年のご挨拶

北区長 村田 匠



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、黒川会長様をはじめ、会員の先生方には、区政の各般にわたり、格段のご支援とご協力を賜りましたことに、

厚く御礼申し上げます。また、「みんなの健康まつり」や、各地域で実施しております「ふれあい喫茶」での歯科相談など、地域保持に多大なご協力をいただいたておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、区役所では、平成十五年から「保健福祉センター」として保健・医療・福祉部門の総合的なサービスを行っておりますが、高齢化そして、核家族化が進んでいる現在、住民の皆さんの健康に対する関心は、

より高まってきております。

このような中、市民ニーズも多様化しており、何が求められているのかを、再度認識し、市民一人ひとりが自分のまちで安心して心豊かに暮らせるよう、さらに充実した福祉・保健・医療サービスを実現するため、これまで以上に努力してまいりますので、今後とも、皆様方の温かいご理解とお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



年男挨拶

班外 前田 勝
(大正12年7月8日生)

亥年年男・年女

大正 12年
昭和 10年
22年
34年
46年



明けましておめでとうございます。

思い起こせば昭和三十九年富国生命ビルに診療所を開設致しました。ビルの八階から眺めますと新大阪までビル一つなく新幹線の列車が入入するのがよく見えました。

その後次々とビルが建ち阪急ターミナルビル、阪急グランドビルと開設し楽しく診療させて頂き北区歯科医師会に永らくお世話になりました。皆様のお陰と感謝して居ります。今は息子に診療所を託し家庭菜園に没頭して居ります。八十三才になったなと思う間もなく年が明け七度目の年男となりました。本年も皆様によい年であります様祈念して居ります。

新年のご挨拶

北区保健福祉センター
医務保健長 長谷 豊



新年あけましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の会員の皆様方には、ご家族お揃いで、お健やかに、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、保健福祉セン

ター事業全般特に保健医療行政、とりわけ歯科保健衛生事業の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、私事になりますが、医者の不養生かと言われても仕方がありませんが、昨年の六月に脳梗塞になりまして、区内の保健医療関係の皆様方には、大変ご迷惑をおかけしたことに存じます。

また、入院の節には皆様

方から多大な励ましとご厚情をいただき感謝の極みでありました。

最近、杖を使用して歩行が出来るようになり、一応、一二月の中旬から除々に出勤しております。

この紙面をお借りして、北区歯科医師会の会員の先生方に心からの感謝とお礼を申し上げます。

また、脳梗塞からの片麻痺を患いまして、左片麻痺ながら、歯のケアが十分に出来ないことに自分でもあきれ、日頃からケアの大切さを再認識した次第です。

歯の健康はライフステー

むすびにあたり、大阪北区歯科医師会が黒川会長並びに役員の方の先生方のもと益々発展されますことと会員並びにご家族の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



(2面より続く)

守る社会保障を切り捨ててまでも財政の建て直しを図ろうとするのが政府の姿勢であります。我々は大切な国民医療を守るために長年にわたり、果てしない運動を展開してまいりましたが、結果としては大きな成果を上げることは出来ませんでした。しかし、成果が望めないからと言って、声を挙げて、闘争する意欲を出しても同じことだと、大概を無くしてしまえば、更にひどい状態に陥るでしょう。即ち、もういいのだという諦めの中でこの時局を見つめれば、もつとひどい局面に引きずり込まれるであります。政府は医療費削減のためには公的保険の守備範囲の縮小は勿論、免責制度や医療費総枠管理の導入さえ、その視野に入れております。現在、我々は大変な状況に置かれていたのだということに認識していただき、今まで以上に皆様方のエネルギーと情熱をお願いいたします。

私どもも気概と使命感を更に、更に燃やして皆様方と共に環境を少しでも改善して行くことをお誓い申し上げます。

俺のモットーは下草上達だよ!!

11班 竹花

(昭和10年2月23日生)



新年、明けましておめでとうございます。

年男、おっと俺のことを忘れないですよ!『ほくし』という大きな看板を背負わされて三巡目の三六才になりましたよ。

昭和四十六年一月一日亥年に北区支部の宝物として誕生し、雑誌(会報)として九号、新聞として一七五号の計一八五号の多くの子孫を出版しました。

当時の編集委員は、故清光淳夫、中西國男、西川亨、黒川森夫の諸先生と竹花のメンバーでした。

雑誌に必要なカットは、西川亨、黒川森夫両画伯がおられ、皆さんのカットを提供していただき、紙面をなごやかなものになりました。

内容も上意下達ではなく、会員の声「ふたことみこと」、会員家族から「うちのトウちゃん」の投稿等があり、

和氣藹々の内容に心が温まるものでした、と自分のこのように振り返って喜んでおります。編集長として『ほくし』の第一号の誕生から三巡、現在六巡目の年男として、古い『ほくし』をひもといております。長い人生、種々なことがありましたが、もう少し頑張つて『ほくし』と共に楽しく生き、次の年男までなんとか頑張りたいと思っておりますが、まア無理ですね。『ほくし』よ、君は永遠たれ、新春、おめでとう。

年男挨拶

15班 畠尾 俊夫
(昭和22年5月13日生)

明けましておめでとうございます。

もうというか、やっとなにか私も元気に還暦を迎えることができました。

若い時分には随分御年配に見えたものですが、いざ自分がその年を迎えてみると、なにはともあれこまま健康でこれたことに感謝

しなければと思っております。

北区歯科医師会にお世話になり早や三二年目、短いようでもあります、歯科業界の変遷を振り返つてみますと、長い月日がたったなあと実感いたします。

仕事の方は妻とさらに二年前より長女が週二回程手伝ってくれるようになり、精神的にはともかく、体力的には楽になってきました。これからは少しづつ仕事から解放され、『肩の力を抜き、頑張らなくてもいい!』をモットーにしていきたいと思ひます。

故我会長、井上前会長、黒川現会長をはじめ役員の方にはお世話になりっぱなしです。本当に有難うございます。今後共宜しくお願いいたします。

最後に会員皆様の益々のご健康、ご発展を祈念申し上げます。

年男挨拶

13班 前田 憲昭
(昭和22年9月24日生)

新年明けましておめでとうございます。

暦が一巡する年齢を迎えました。「あたりまえのことを、あたりまえにする。そうすると特別になる。」

イチローの言葉だったかも知れません。TVで観た一流レストランのシェフの言葉だったか。同じレシビでも出来るものは異っている。この言葉を味わって毎日を有意義に過したいですね。

標準的院内感染防御。厚労科研究班の合言葉です。

楽しむ

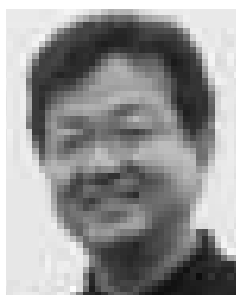
6班 渡辺 道雄
(昭和22年12月7日生)

新年早々恐縮ですが、昨年の暮れ、大変お世話になった神馬先生がお亡くなりになり又、ちょうどその一週間後にごく親しかった私の同級生も亡くなりました。

人間は死ぬということが今回は特に身にしみてわかりました。私達はこれから

先死ぬまで生きるということですが、では何のために毎日を生きているのか。一言でいえばやはり、幸せを求めて生きているのだと思います。六〇才になる今、一番気にいつている言葉『楽しむというキモチはすべてを変えていく』軌保博光

年男挨拶

3班 福田 真一
(昭和34年12月11日生)

新年明けましておめでとうございます。皆様方にとりまして、幸せの年になります様、お祈り申し上げます。

昭和五九年に大学を卒業し二三年、北区歯科医師会に入会させて頂き一四年になります。毎年自己成長を願いつつ出来ぬまま歳を重ね四回目の年男となりました。今年こそ、良い節目と公私共に目標達成、また、皆様に御指導頂きつつ自己成長する所存であります。

亥年年男・年女会員

- | | | |
|-----------------------|------------------------|-----------------------|
| 班外・澤 英一 (大正12年8月21日) | 9班・田中孝一 (昭和34年7月3日) | 9班・名越里佐 (昭和46年10月10日) |
| 11班・竹花静子 (昭和10年7月12日) | 12班・國田浩之 (昭和34年12月24日) | 14班・勝間有香 (昭和46年4月20日) |
| 2班・遅 基洋 (昭和22年11月26日) | 16班・清原秀三 (昭和34年11月29日) | 16班・大山晋考 (昭和46年7月10日) |
| 5班・宮 博文 (昭和22年9月7日) | 12班・英保武志 (昭和34年9月3日) | (敬称略) |

皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。

平成十八年度 第二回総会 (臨時)

H18.12.27



去る平成一八年十二月二
七日(水)午後七時三〇分
より北区民センターにおい
て、平成一八年度第二回総

会(臨時)が開催された。
多田議長の開会宣言に始
まり、賀本庶務理事の点呼
により、会員数二〇〇名、

定款三九条による総会定足
数は一〇一、出席者数三四
名、委任状提出者一〇六名、
合計一四〇名で定足数を満
たしており、総会が成立し
たことが報告された。続い
て中谷副会長の開会の言葉
で、年末の忙しい時間に出
席いただいた会員に礼を述
べた。

ここで多田議長が九班の
西川久義先生・一五班の樋
口忠彦先生を議事録署名人
に指名した。

続いて、黒川会長が挨拶
に立ち、平成一七・一八年
度の神馬知明監事の急逝を
悼むと共に、監事補欠選挙
に出席いただいた会員に感
謝の言葉を述べた。次いで
大塚専務理事から、神馬知
明先生はじめ物故会員並び
に物故会員家族に対し、弔
慰を表わし、黙祷を捧げる
ことが提案され、多田議長
の発声により黙祷を捧げた。

委員会報告では竹花選挙
管理委員長より、去る平成
一二月一日に、神馬監事の
急逝に伴う平成一七・一八
年度監事補欠選挙告知内容
の検討が行われ、一二月五



日に選挙告知が行われたこ
とが報告された。

特に質問も無く引き続き、
竹花委員長より、平成一七・
一八年度監事の補欠選出に
ついて、選挙告知の結果、



神馬 知明 先生(14班)

御略歴

昭和十九年一月二十七日生
昭和四十六年
大阪歯科大学卒業

訃報

神馬知明先生を悼む

会長 黒川 森夫

伝統ある大阪北区歯科
医師会発展の中心にあつ
て、先生は常に会を愛し、
会員を思い、決して目立つ
ことなく高いご見識のもと
に会を支えていただいたお
心に改めてここに感謝しま
すと共に、多方面にわたる
幾多のご功績に対して心か
ら敬意を表するものであり

渡辺道雄先生が唯一人立候補
されたことが報告され、
本会選挙規定の第九条『一
名の監事補欠選挙にあつて
は立候補者が一人のときは、
投票を行わない。』に従つ
て、無投票で渡辺先生の当
選が確定した旨が報告され
た。その後、渡辺新監事か
ら、伝統ある大阪北区歯科
医師会の監事に選出された
ことに対して礼を述べると
共に、来年三月の任期満了
まで、全力で職務を全うす
る強い決意が述べられた。

全員が拍手で新監事の当選
と前途を祝した。特に他に
協議題はなく東郷副会長の
閉会の言葉、多田議長の閉
会宣言で総会は無事閉会し
た。

ます。

思えば、ご逝去五日前の
十一月七日、再度病院を訪
れた時、面会謝絶のところ
特別許可を得て十五分ほど
先生とお会いできましたが、
先生は当会の将来について
熱く語っておられたのが結
局最後になってしまいました。

清廉潔白を信条とされ、
常に変わらぬ正義感に満ち
た毅然とした姿勢の中に、
人間味溢れる優しさや気高
さを兼ね備えられ、そして、
いつもダンディな装いは広
く会員から慕われておられ
ました。

先生は、旅をこよなく愛
され、当会での旅行には必
ずご参加されるのが常でし
たが、こうして突如永遠の
旅路へ一人立たれるとは想
像も出来ませんでした。

また、監事の立場で当会
執行部に対して適切なご指
導を戴いていた矢先のご逝
去は、当会にとってもこの
上ない損失であり、痛恨の
窮みであります。

今、多くの人々の胸に先
生と共に過したありし日の
数々の追憶が悲しみと共に
去来していることと思いま
す。

先生、本当に長い間お世
話になりました。そして有
難うございました。合掌

「安心して受診できる国民皆保険制度を 守る北区民集会」に参加して

会長 黒川 森夫

H19.2.22

平成一九年一月二十四日（水）、大阪市中央公会堂で開催された大阪府民集会に連動した府下二十一地区集会のうちの北区民集会が、去る二月二十二日（木）午後二時より山西福祉会館において北区六師会主催、五つの関係団体の後援で会場超満員の一〇五名出席のもと盛大に開催された。

古林北区医師会副会長の司会で進行、末澤北区医師会会長から集会の趣旨説明があった後、茂松大阪府医師会専務理事が立ち、政府医療制度改革の骨子とその内容の危険性について解説、続いて北区六師会代表およ

び後援団体代表の意見表明を行った。各代表それぞれの立場で窮状を訴え、会場



は次第に熱気溢れる雰囲気

に変わっていった。
なかでも、栗澤北区地域女性団体協議会会長は「小泉路線に乗った老人いじめの医療制度改革は絶対許せない。私が先頭に立って早速陳情に上京したい。」と訴え、場内から期待せずして賛同の拍手が上がったのが印象的であった。次いで、集会決議案が満場一致で採択され、かくして北区民集会は盛会のうちに終了した。思えば三年前、混合診療解禁阻止のために六師会主

催で初めて区民集会を開き、所期の目的を達成したが、今回はその反省をもとに医療担当者側の一方通行にならないように五つの関係区民団体が後援することによって区民の生の声を汲み取ることができたことが大きな収穫であった。
今後六師会では、後援団体を更に広げ、できるだけ

大阪府歯科医師会 五支部役員懇談会

(北区大淀支部・福島支部・此花支部・西淀川区支部・北区北支部)

H18.10.17

平成一八年十月一七日（火）午後六時より、北区北支部が当番で、ホテル阪神十階ボールルームで標記懇談会が、府歯からは岡会長以下一二名、北区北支部からは黒川会長はじめ二〇名、他支部から六三名、総勢九五名の役員の出席のもと開催された。
第一部の時局報告会は、北区大淀支部木村支部長の司会で進行、まず、当番支部として北区北支部黒川会長が開会の挨拶を行い、続



いて府歯から岡会長の挨拶があった。その後、出席者の紹介に移り、府歯役員、

多くの区民参加の集会に発展するよう努力したいと考えている。



五支部役員の紹介があったあと、岡会長の時局報告会に入った。



時局報告の内容は、平成二三年に実施されるレセプトオンライン化にスポットを当てたものであった。特に、すでに実施されている韓国でのオンラインシステムについて紹介され、その問題点や危険性を含めた解説があった。また、直近の情報として、次のような考えが披露された。すなわち、政府の打ち出したレセプトオンライン化は、あくまでも省令であり、それをストッブするのは法律の変更ではなく、省令の変更ということになる。したがって会員の努力によっては省令を変更させ、後退せしめることもあり得ることも示唆された。今後は会員として医療人としての努力とエネルギー

ギーの結集が求められることを強調された。最後に西淀川区支部大野支部長の謝辞で時局報告会は閉会した。

休憩をはさんで、第二部の懇親会に移り、福島支部浅井支部長の開宴の辞に始まり、府歯下村副会長の音頭で乾杯となり宴会に入った。府歯役員と五支部役員が和気あいあいの雰囲気の中、支部内での悩みや時局問題に至るまで話の輪が各テーブルに広がり、意義



深い懇親が展開されていた。最後に此花支部森支部長の閉宴の辞で会は無事終了した。
今回、岡会長はじめ府歯役員や隣接支部の役員と親しく懇談することにより、医療人として、地域医療推進のために心新たに更なる努力を積む必要性を痛感した。

— 学術部企画講演会 — **LSTR 3 MIX-MP法とその臨床成果、** **新しい細菌性口腔疾患治療法**

H18.10.20

平成一八年一〇月一〇日(金)
午後七時より新阪急ビル貸

し会議室にて学術部企画の講演会が新潟大学の星野悦郎先生を講師に迎え開催されました。一〇五名の出席者がありました。以下星野先生の紹介と抄録を記します。

【講師の紹介文】

星野悦郎先生、一九八二年以来の口腔細菌の基礎的研究成果に根ざした新しい概念での歯科治療、「病巣無菌化組織修復療法」を提唱し、この療法の改善や進



展、あるいは臨床応用に当たった基礎的検討を担当している。実際に臨床応用を行っている宅重豊彦先生(仙台市)ら多くの内外の臨床歯科医と共同し、その

成果や術式等を報告・紹介している。

現在、本邦では、かなり多くの臨床歯科医が本療法を利用していると思われるが、本来の目的に添った、



適切な術式によって実施されているか不明な点があり、本療法の情報の提供、術式の教授等を行っている。諸外国では、星野先生らの活動により、アジアの国々、あるいはアメリカ合衆国等でも利用され始めており、実施された例では、いずれも良好な臨床成績となっているという。

【テーマ】「LSTR 3 MIX-MP法とその臨床成果、新しい細菌性口腔疾患治療法」
病巣無菌化組織修復(LSTR)療法は、病巣を無



菌化することで、患者自身の快復力によって病巣組織の修復を促進させる療法で、その中でも抗菌薬剤を用いる3 MIX-MP法は、口腔の細菌が関与している疾患、特に、う蝕や歯髄炎、感染根管等の治療に著効を示している。象牙細管を経由して菌質全体に素早く、容易に浸透するので、薬剤は病巣から離れた場所に貼薬し、病巣をいじらず刺激せずに治療効果が得られる。軟化象牙質は再石灰化が期待でき、従って、う蝕病巣の殆どは意図的に残存させることができる。炎症のある歯髄(自発痛のある歯髄炎を含め)も適応対象で、抜髄や断髄など外科的な処置を必要とせず、う窩洞底の象牙質に貼薬する事で治療が可能となっている。救済した歯髄は、知覚があり、

違和感なしに咬合ができています。骨吸収の大きな根周病巣を持つ感染根管でも再根管治療でも、その根管拡大や根管充填の実施の有無にかかわらず、高い成功率を得ている。根尖孔をいじらないで済むため、臨床上なトラブルが少ない療法となっている。他の口腔の疾患では、細菌感染や汚染のコントロールができる、と良好な治療効果が得られ、治療が早い。

医療管理講演会

「歯科医師と救命救急処置」

H18.9.15

平成一八年九月一五日
(金)午後七時より新阪急ビル貸会議室に於いて医療管理講演会が開催されました。

講師に大阪歯科大学麻酔学講座教授、小谷潤一郎先生



第二回選挙管理委員会

H18.12.1

平成一八年一二月一日
(金)午後七時より、平成一八年度第一回選挙管理委員会が開催された。

選挙管理委員の竹花一生、上田祐嗣先生、高垣健太郎先生、吉川與司雄先生、西川久義先生と執行部から黒川会長、大塚専務理事、奥野常務理事が出席した。協議の結果、委員長には

竹花先生が副委員長には上田先生が選出され、神馬知明先生急逝による平成一七・一八年度監事補欠選挙は一二月二七日に臨時総会を開催し投票日とすることを決定、また、平成一九・二〇年度会長・監事選挙は三月二三日に開催予定の総会を投票日とすることとした。



生とAEDデモ担当の同講座助手の橋本佳代子先生をお招きし、「歯科医師と救命救急処置」についてご講演していただきました。
AHA(米国心臓病協会)によって作成された心臓蘇



生法のガイドラインの説明、自動体外式除細動器(AED)の使用について詳しく説明していただきました。AEDの具体的な使用方法についてのデモでは、受講者全員が興味をもたれ実際に使用方法を体験したり、熱心に質問されていました。参加者は三八名でした。

北歯ゴルフ同好会秋季コンペ

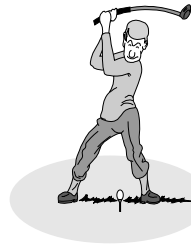
H18
11.3

平成一八年一月三日
(金) 文化の日に伏尾GC
において、平成一八年度第
二回コンペが行われました。
当日は好天気に恵まれ紅葉
を楽しみながらのプレーと



なりました。久しぶりに参
加された中村敬三先生が安
定したゴルフを見せて、ブ
ッチガリの優勝で幕を閉じ
ました。また、次回は来月
の四月一五日(日)に矢追
秀純先生のご尽力により、
『西宮高原CC』で開催い
たします。今年度も多数の
先生方のご参加をお待ち致
しております。

(大塚俊裕記)



府歯ソフトボール大会

H18
9.23

秋晴れの下、今回で二五
回を数える恒例の府歯ソフ
トボール大会が平成一八年
九月二三日(土) 大阪歯科
大学牧野学舎グラウンドで開
催されました。



開会式、始球式の後、午前
九時二〇分、黒川会長が激
を飛ばされる中、生野区支
部との試合が開始。初回は二
対二の接戦ムードではありま
したが二回三回と毎回得点
を重ねる我がチームに対し、
生野区支部チームは谷口先
生の好投と鉄壁の三遊間に
阻まれ結局十三対四で我が
チームが大勝を収めました。
九月二八日には天神橋筋
商店街の「松留」にて黒川
会長にもご出席頂き、中村
監督以下参加選手らで盛大
に祝勝会が行なわれました。
(福祉 I 高畑栄夫)

18年度 北歯ゴルフ同好会 秋季ゴルフコンペ成績

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	中村 敬三	43	52	95	27	68	16
準優勝	大塚 俊裕	41	46	87	13	74	11
3位	橋本 哲志	49	51	100	26	74	24
4位	木村 哲也	45	44	89	14	75	
5位	大塚 安代	51	53	104	29	75	
6位	西川 亨	44	45	89	13	76	
7位	矢追 秀純	43	43	86	9	77	
8位	田中 康隆	43	47	90	13	77	
9位	吉田 皓	42	41	83	5	78	
10位	中村 積方	44	49	93	14	79	
11位	渡辺 道雄	46	46	92	12	80	
12位	石田 豪	52	53	105	25	80	
13位	吉川 司雄	46	47	93	12	81	
14位	橋本 收	48	46	94	13	81	
15位	岡田 修二	53	57	110	28	82	
16位	本出 肇	50	51	101	16	85	
17位	三宅 貴	42	59	101	15	86	
18位	加納 晴彦	52	61	113	22	91	
19位	野口 秀夫	52	52	104	12	92	
BB	三浦 康宏	62	59	121	27	94	
BM	橋本 浩一	78	78	156	36	120	

ベ ス グ ロ 吉田
ド ラ コ ン 木村哲、野口
ド ラ チ ョ ン 橋本哲
ニ ア ピ ン 渡辺、中村積、橋本收、三浦
大 波 三浦
小 波 木村哲
ノーバンカー 吉田
並 び 賞 矢追

※：北歯コンペは、同ネットの場合の順位はハンディ上位、
年齢上位、女性上位の順で決定します。敬称略／順不同

新入会員

8班・小野 聖子

(大歯大・昭和60年卒)



(診) 天神橋三〇一七
松村ビル1F
電 六八八〇一〇二二

(自) 大阪市天王寺区小宮町
三〇八〇一〇四
電 六七七二一五〇四

(趣味) 読書、ピアノ、
ショッピング

16班・土岐 一仁

(広島大・平成8年卒)



(診) 池田町六〇〇フライン
ファーストビル5F
電 四八〇〇一六四八〇

(自) 大阪市城東区野江二
三三三六八六二〇三
電 六九三〇一三三五六

(趣味) ゴルフ

税務申告説明会開催

H19
2.6

平成一九年二月六日(火)
午後六時より「ガーデンシ
ティクラブ大阪」において
税務申告説明会が開催され
ました。

黒川会長の開会の挨拶に

次いで、北税務署の輪島副署

長の挨拶の後、個人課税第二

部門統括官中川様により

一、確定申告書の作成に当

たつての留意事項につ

の多い事項について
三、e-TAXについて詳し
く説明がなされました。
質疑応答の後、東郷副会
長の挨拶で閉会しました。
参加者は二十四名でした。
(医療管理 三浦幹雄)

編集後記

諸事情により新春号が、
大幅に遅れましたことを心
からお詫び申し上げます。